

# 平成 30 年度 事業報告

## 1 事業の成果

平成 30 年度は、世田谷区駒沢地区を主な活動場所として、環境学習・教育事業、環境保全に関する普及啓発事業、情報収集及び情報提供事業を行った。また、前年に引き続き大阪市住之江区における活動も行った。

定例講演会は第 164 回（年度中 7 回）を迎えた。

### 【環境学習・教育事業】

「子ども環境カレッジ」と題し、小中学生を対象として、例年と同様に GE カレッジホールを利用した「夏休み☆環境＋生きもの体験」を計画したが、当日台風の直撃に会い参加者の行き返りの安全を考慮し、前々日に中止とした。大阪市住之江区ではいであ(株)大阪支社ホール等で「身近な生きもの探検隊」を開催し、身近な環境や生物について体験し考える環境教育を行った。

また、一般市民を対象とした定例講演会を、世田谷区駒沢地区において 4 回、大阪市住之江区で 2 回、福岡市で 1 回開催した。なお、これらの講演会はテレビ会議システムを利用し、全国 10 か所でも聴講できる形式で開催している。

### 【環境保全に関する普及啓発事業】

環境保全に関する普及啓発事業としては、平成 29(2017)年度の活動をまとめた「GEC 活動報告書 2018」を作成し、会員及び観察会や講演会の参加者に配布したほか、ホームページによる情報の発信を行った。

また、いであ(株)と連携し、防災・減災学習用教材「ぼうさいキング」の普及活動を行い、販売を担当した。

### 【情報収集及び情報提供事業】

東北地方および中部地方を中心として、前年度に続き、淡水魚及びその生息地の保護に関する活動（生息地の状態の把握の調査、行動特性に関する研究、個体の生息域外での保護等）を行った。

また、近年顕著な気候変動が漁業に及ぼす影響が懸念されることから、漁業としての適応策を検討するための研究会を運営した。学識者による講演会等を開催し、適応策検討の方向性を論議したほか、優先課題の選定や現場視察を実施した。

## 2 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者人数	受益対象者の範囲 および人数	支出額 (千円)
環境学習・ 教育事業	「子ども環境カレッジ」 環境と生物に関する 室内セミナー等	7月28日(土) (13:00~17:00) ただし、台風のため中止	世田谷区 駒沢	5人	—	51
		8月4日(土) (9:00~12:00)	大阪市住之江区	21人	小学生・幼児, 保護者 (29人, 21人)	97
	環境保全に関する 講演会、 セミナー、 シンポジウム等	4月23日(月) 6月4日(月) 6月25日(月) 7月23日(月) 10月12日(金) 10月29日(月) 11月29日(木) (原則 17:00~ 18:30)	4月 福岡市  6,7,10月 世田谷区 駒沢  6,11月 大阪市	5人 /1回	一般市民 (※事務局・社員・外部の総数) 278人 215人 261人 235人 148人 173人 155人	624
		自然観察会等への支援	5月12日(土)	横浜市都筑区	2人	小学生・保護者 20人
環境保全に 関する普及 啓発事業	ホームページの運営	4月~3月	世田谷区 駒沢	15人	一般市民 (不特定多数)	26
	活動報告書の作成	8月発刊	世田谷区 駒沢	15人	一般市民 (発行部数 1,600)	448
	防災・減災学習教材の 制作・販売	7月~3月	世田谷区 駒沢	2人	一般市民 (不特定多数)	0
	「東京湾シンポジウム」 ポスター展出展	10月	横浜市西区他	2人	一般市民 (200人程度)	0
情報収集及 び情報提供 事業	淡水魚の保護に関する 活動	4月~3月	岩手県大槌町 岐阜県大垣市 三重県菰野町 ほか	2人	一般市民 (不特定多数)	1,800
	気候変動適応策研究会	1月31日 2月26日 3月5~6日	横浜市都筑区 沖縄県	5人	会員 10名	312

### (2) その他の事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者 人数	受益対象者の範囲 および予定人数	支出 (千円)
	実施せず					

## NPO 法人 地球環境カレッジ 平成 30 年度開催事業一覧

日 時	事 業	備 考
4 月 23 日(月)	●第 158 回 (平成 30 年度第 1 回) 定例講演会 「河口・沿岸域の土砂輸送と航路維持について」	中川 康之先生 (九州大学大学院工学研究員教授)
5 月 12 日(土)	◎身近な自然観察会協力支援	
22 日(火)	※平成 30 年度 (第 15 回) 通常総会	
6 月 4 日(月)	●第 159 回 (平成 30 年度第 2 回) 定例講演会 「子どもの環境保健：未来への希望」	中山 祥嗣先生 (国立研究開発法人国立環境研究所 環境リスク・健康研究センター曝露動 態研究室室長/エコチル調査コアセン ター研究開発室長)
25 日(月)	●第 160 回 (平成 30 年度第 3 回) 定例講演会 「最近の土砂災害と警戒避難支援シミュレータの開 発」	藤田 正治先生 (京都大学防災研究所附属流砂災害研 究センター教授)
7 月 23 日(月)	●第 161 回 (平成 30 年度第 4 回) 定例講演会 「近年の水関連災害の発生状況と教訓、気候変動への 適応策」	池内 幸司先生 (東京大学大学院工学研究科教授/東 京大学地球観測データ統融合連携研究 機構機構長)
29 日(土)	○子ども環境カレッジ 「夏休み☆環境+生きもの体験」	GEC ホール ※台風接近のため中止
8 月 4 日(土)	○子ども環境カレッジ 「身近な生きもの探検隊」	いであ(株)大阪支社ホール 50 名参加 (小人 29, 大人 21)
10 月 12 日(金)	●第 162 回 (平成 30 年度第 5 回) 定例講演会 「SLCP(短寿命気候汚染物質)による地球温暖化」	林田 佐智子先生 (奈良女子大学理学部化学生物環境学 科教授)
18 日(木)	◇東京湾シンポジウム ポスター展出展	
29 日(月)	●第 163 回 (平成 30 年度第 6 回) 定例講演会 「大気・水・土壌等の環境保全施策の現状と課題」	早水 輝好先生 (前 環境省水・大気環境局長)
11 月 29 日(木)	●第 164 回 (平成 30 年度第 7 回) 定例講演会 「自然災害リスク評価手法 (GNS) の提案およびリス クコミュニケーションを通じた住民参加型の斜面防 災活動について」	小山 倫史先生 (関西大学社会安全学部准教授)
1 月 31 日(木)	☆気候変動適応策研究会講演会「気候変動と今後の沿 岸漁業」	片山 知史先生 (東北大学大学院農学研究科水産資源 生態学分野教授)
2 月 26 日(火)	☆気候変動適応策研究会 検討会	10 名
3 月 5 日(火)-6 日 (水)	☆気候変動適応策研究会 現場検討会	5 名

○環境学習・教育事業 (子ども環境カレッジ)

●環境学習・教育事業 (環境保全教育に関する講演会、セミナー、シンポジウム等)

◎環境学習・教育事業 (身近な自然観察会支援)

◇環境保全に関する普及啓発事業

☆情報収集および情報提供事業